

トピックス **ぶらす**

3/7

地域づくりには元気な人の力が必要

地域づくり講演会が3月7日、宝江ふれあいセンターで行われ、市コミュニティ推進連絡協議会、すばらしいみやぎを創る市連絡協議会の関係者約100人が参加しました。講師は米山町出身で、仙台市にある(有)プランニング開の代表取締役新田新一郎さん。新田さんは、地域を変えるためには地域の元気な人の力が必要なことを強調していました。



▲元気な人がまちを変えることを強調する新田さん

3/20

協力して伊豆沼・内沼の自然を守る

ラムサール条約指定地の伊豆沼・内沼の自然環境を保全するために、「第44回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン」が3月20日、市サンクチュアリセンターで行われました。地区内の小中学生や市内の企業、各種団体から約520人が参加。およそ2時間にわたり、沼周辺に捨てられていた空き缶・瓶や雑誌、たばこの吸殻などの回収に汗を流しました。



▲回収したごみを分別して集積車に積み込む参加者

3/20

スポーツが人と人、国と国をつなげる

市スポーツ講演会が3月20日、登米祝祭劇場で行われ、一般住民やスポーツ関係者ら約160人が参加しました。講師はスポーツキャスターで、元バレーボール全日本代表のゼッターランド・ヨーコさん。「不可能を可能に」の演題で、スポーツが人と人、国と国をつなぐきっかけになることや、バレーボールのルール解説を質問形式で行いました。



▲スポーツの素晴らしさ・大切さを話すヨーコさん

3/23

世代に応じた食育推進の実現に向けて

市食育推進計画の作成を記念して、第1回食育フォーラムが3月23日、登米祝祭劇場で行われました。コーディネーターは尚綱学院大学総合人間学部講師の芳賀めぐみさん。「見て・さわって・作って・食べて・学んで」をテーマに、家庭や地域、学校、保育所・幼稚園での食育の取り組み状況や、今後の目標をパネリストとともに語り合いました。



▲食育について活発な意見や要望が交わされました

夜間の外出は特に気を付けて

中田で交通安全啓発訪問

年々増加している高齢者の交通事故を防止しようと、交通安全啓発高齢者戸別訪問が2月24日、中田町上沼籠壇区内で実施されました。佐沼地区交通安全協会上沼支部・交通安全母の会の会員12人が、2班に分かれて70歳以上の高齢者がいる45世帯を訪問。交通安全啓発チラシの配布や、夜間の外出時の事故防止用にと、車のヘッドライトで反射する靴用の反射材を対象者の靴に貼って交通事故防止を呼び掛けました。訪問されたお年寄りも、「今後夜間に出掛けるときは、この靴を履いて出掛けます」と話していました。



▲会員が高齢者のいる世帯を訪問し靴に反射材を貼りました

火災に備えて放水始め!

南方で一斉放水訓練

春の全国火災予防運動期間中の3月2日、市消防団南方支団の一斉放水訓練が南方町銭金壇「寺堤」で開催されました。訓練には団員や南方支部婦人防火クラブ員、市関係者ら約150人が参加。人員報告、無火災祈願、各種表彰、永浦支団長のあいさつの後、高橋副支団長の合図により、南方支団の全ポンプによる一斉放水が行われました。訓練終了後には、団員と婦人防火クラブ員の共同による毎戸防火診断が行われ、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災の発生防止に努めました。



▲南方支団の全ポンプが参加して行われた一斉放水訓練

面白おかしい方言に大笑い

豊里で文化講演会

文化講演会(豊里文化協会主催)が3月15日、豊里公民館で開催され、地区内外から約300人の来場者がありました。ゲストは、仙台市出身で民謡歌手の庄司恵子さん。「人生これなら本番なのっしょ」をテーマに、これまでの経験談を語った講演会や三味線演奏などが行われました。庄司さんのしゃべり方は方言が特徴。その面白おかしい方言を使った巧みな話術に、会場は笑い声が絶えませんでした。また、民謡の披露や大抽選会なども行われ、大いに盛り上がった講演会となりました。



▲講演会のほか三味線演奏や民謡が披露された文化講演会